

新環境クリーンセンター建設工事 NEWS

この「新環境クリーンセンター建設工事NEWS」では、
定期的にごみ処理場の建設工事に関する情報をお届けします。

第11号

2020年1月
富士市 環境部
新環境クリーンセンター建設課
TEL 0545-55-2918

資源回収棟及び循環啓発棟の工事も本格化しています。

工場棟では、鉄骨・躯体工事が概ね終了し、設備工事や内装工事を進めています。プラント設備は、機械・配管・電気工事を進めており、今後は保温工事や焼却炉の築炉工事が始まります。

また、資源回収棟及び循環啓発棟でも鉄骨、外装工事が続いています。

6ヶ月工事工程

2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月
工場棟建築（躯体・鉄骨・設備）工事			工場棟（煙突・設備・内装）工事		
プラント設備工事					
擁壁工事・盛土工事					
循環啓発棟工事			循環啓発棟・資源回収棟工事		

← 実績 予定 →

蒸気タービン発電機を設置しました。

ごみを焼却した高温排ガスからボイラーで蒸気として熱回収したものを、蒸気タービン発電機で電力に変換します。

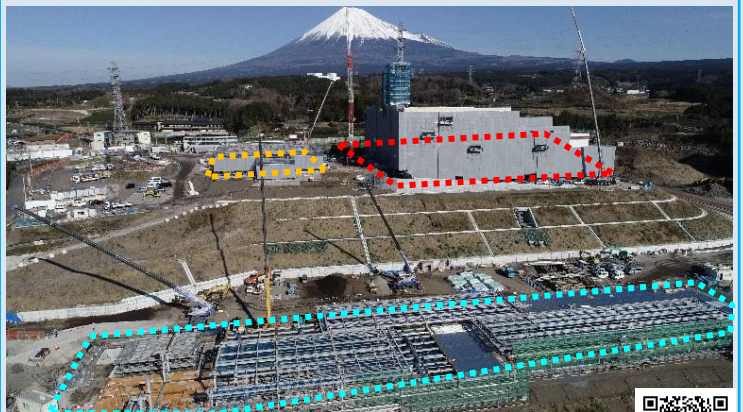
蒸気タービン発電機は、最大6,800kWの発電能力があり、施設で使用した残りの余剰電力は電力会社へ売却します。

この余剰電力は、約 7,000 世帯の家庭を賄うことができます。



工事現場全景（1月中旬）

写真の が工場棟で が資源回収棟、 が循環啓発棟です。



ドローンで撮影した動画を富士市公式YouTubeで配信中



ごみクレーンを設置しました。

ごみピットへ搬入・貯留されたごみを焼却炉へ投入するためのごみクレーンを設置しました。

1 回に 5.5t のごみをつかむ能力のあるクレーンは2台あり、1台で焼却炉2炉分の能力があります。



循環啓発棟の地上工事を進めています。

修理再生施設と余熱利用体験施設で構成される循環啓発棟では、基礎工事が完了し、地上工事を進めています。

修理再生施設と余熱利用体験施設にはそれぞれ愛称をつける計画で、昨年11月30日から1月17日までの間募集を行い、修理再生施設で287件、余熱利用体験施設で281件の募集がありました。ご協力ありがとうございました。



資源回収棟の姿が見えてきました。

資源回収棟は、家庭ごみの持込みを受付けるほか、搬入されるごみの計量を行う、ごみ処理施設の入口となる施設です。

現在は、鉄骨工事が完了し、姿が見えるようになりました。

